

若手職員座談会



鈴木 友実

(すずき ともみ)

平成22年入局 庶務部文書課
「手で郵便物の重さがわかるようになりました!」



竹岡 優樹

(たけおか ゆうき)

平成22年入局 庶務部文書課情報化推進室
「同期はとても仲が良いので、充実した生活を送っています。」



司会：はじめに皆さんの業務内容について教えてください。

石田：私は議員課秘書係で議員の公設秘書の採用・退職、健康保険・厚生年金に関するを中心に業務を行っています。また、財形貯蓄や永年在職表彰、秘書関係の法律、規程等に関する事なども秘書係の仕事で、対職員の人事課と厚生課を足したような仕事を幅広く行っていますので、常に仕事を抱えていてとても濃密な毎日を送っています。

飯島：厚生課短期給付係では、職員の方がお持ちの保険証に関する手続きをしています。また、医療機関にかかったときや、結婚や出産などの際の給付手続きを全般的に行っています。

鈴木：文書課総務係では事務局内の公文書の管理、文書の受付や郵便物の発送を行っています。今では、手に郵便物をのせると料金がわかるようになりました。また、国会の召集の際に行われる開会式などの式典等の運営にも携わっており、本会議場や、天皇陛下が国会においでになった際に一時お休みになれる「御休所」での作業もあり、貴重な体験ができる部署です。

竹岡：私は文書課情報化推進室に所属しています。名前のとおり、参議院内で使うパソコンや院内のネットワークなどの情報関係の仕事をしています。事務局の職員だけではなく、議員を含めた院内すべてが業務の

対象になります。わかりやすい例としてはメールアドレスの作成などを行っています。

司会：仕事のやりがいについて教えてください。

竹岡：仕事のやりがいは、自分の業務が様々な場面で役に立っていることだと思います。どのような業務にもパソコンは必要になってきているので、その環境を維持していくことは院全体の効率的な活動をサポートすることにつながっていると思っています。

入局してから経験したことで印象深かったことは、新しく完成した議員会館の仕事です。ネットワーク環境を構築したことや、新しい議員会館への機器の移設など、今後は経験できない内容だったので、とても貴重な機会でした。

石田：秘書の方とやりとりしていると、人の名前やお顔を覚えるのが苦手な私でも、自然にそれらが頭に入っています。どんな方でも名乗る前に「〇〇さんですね、お待ちしております」と声をかけると、嬉しそうにいろいろお話を聞かせていただけます。些細な情報が係の仕事に活きたときもありますので、そういうときはちょっとした達成感があります。

飯島：国会運営をサポートする職員を裏方から支えることで、間接的にはありますが国会運営をサポートしていることにつながり、やりがいを感じます。また、短期給付係は医療関係の知識を身につけることができるの

で、日常生活においても役立ちます。

司会：仕事をすることに心掛けていますか。

鈴木：最初のうちは、何をしていたかわからなかったのですが、最近は自分がすべきことがわかるようになってきました。今日は何をしなければいけないかしっかりと整理し、計画的に仕事に取り組むようにしています。

竹岡：フットワークを軽くする事を心掛けています。行動することで学ぶことも多いです、デスクで行う仕事以外に議員室や、他の部課室に行く事も多いので、自分が率先して動くようにしています。運動不足解消にもなりますよ(笑)。

石田：些細な疑問を残さないこと。些細だと思っていた疑問が、質問してみるとその業務の本質にかかわることも少なくありません。私は仕事でとったメモは後でノートにまとめていて、今ではノートが6冊目になりました。そうすることで既存の業務については、曖昧な部分がかかります。また、新しい仕事をすると、次々に疑問がわいてくるのですが、ノートにまとめながらそれら一つずつぶつけていくことで、仕事への理解が深まると思っています。

飯島：給付というお金を扱う仕事ですので間違いのないように慎重にチェックをしています。また、よく言われていることですが上司への「報告」「連絡」「相談」を心掛け、難しい案件は一人で抱え込まないようにしています。そうすることで、仮に一人で対応しきれない事態が起きたとしても、素早い解決につながると思います。

司会：皆さんの趣味やストレス解消法などを教えてください。

飯島：私の趣味は友人と旅行に出かけることです。参議院事務局に就職してからは若手・京都・青森に遊びに行きました。青森には友人がいるので、今年の夏も青森への旅行を計画中です。ねぶたで跳ねたいと思っ

ています!

配属される職場によって異なりますが、ある一定の仕事のリズムを把握できれば国内旅行などに遊びに行くことは難しくないと思います。

鈴木：私は事務局内のバドミントン部に所属しています。体を動かすことでとてもリフレッシュできますし、他の部署の方々と交流することができるので、視野が広がります。また、休日は、学生時代の友人や同期とよくお酒を飲みに行ったりもしています。

竹岡：自分も同期や友人と飲みに行くことが多いです。同期はとても仲が良いので、充実した生活を送っています。また、仕事とは関係のない学生時代の友人と過ごすことで、自分の知らない様々な話を聞くことができるので、幅広い知識を得られます。

充実した生活を送ることで、より良い仕事ができると思っています。

司会：最後に受験生へメッセージをお願いします!

石田：就職氷河期の再来と言われている昨今ですが、どうかその報道や情報に惑わされず、みなさんの魅力を伝えていって欲しいと思います。

飯島：今が皆さんの正念場です! Never give up!の精神で、最後まで自分を信じて落ち着いて行動することを心掛けて下さい。

鈴木：自分のアピールポイントを見つけ、面接などでは素直に感じた事を伝えれば良いと思います。就職活動は不安な気持ちになりがちですが、自分に自信を持ち頑張ってください!

竹岡：緊張すると思いますが自信を持って受験に望んでほしいと思います。自分が働いている姿を想像することで、面接でもしっかりとした対応ができると思います。頑張ってください。



石田 恵

(いしだ めぐみ)

平成21年入局 庶務部議員課
「仕事でとったメモは後でノートにまとめています。今ではノートが6冊目になりました。」



飯島 由衣

(いじま ゆい)

平成21年入局 庶務部厚生課
「今年の夏はねぶたで跳ねたい!」